

大学入学者選抜における英語 4 技能評価 及び記述式問題の実態調査の結果

（概要 速報版 ①学部別調査）

1 目的

各大学が実施する令和2年度大学入学者選抜について、選抜区分ごとに英語4技能の評価及び記述式出題の実施状況を含む入試方法の詳細を把握する。

2 実施時期および方法

令和2年7月14日～令和2年9月14日 eメールによる調査票の発送及び回答票回収（遅れて回答のあった大学も含め、令和2年9月30日までの回収分を集計）

3 対象

本調査は、全ての大学（学生募集停止の大学を除いた、国立大学、公立大学、私立大学の計771大学）を対象としている。回収数は699大学（2,222学部、46,007選抜区分）（回収率：90.7%）。

1. 学部別調査

- ・ 3つの方針の策定の有無（全体・国公立別）
- ・ 出題方針の策定・公表の有無（全体・国公立別・大学規模別）
- ・ 3つの方針等における英語の能力に関する記載
- ・ 3つの方針等における【思考力・判断力・表現力】の育成・評価に関する記載
- ・ 個別学力検査試験問題の公表状況
- ・ 受験者本人への成績開示制度
- ・ 選抜の妥当性・信頼性等について検証を行っている事項
- ・ 英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見（全体・国公立別・大学規模別）
- ・ 大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか（全体・国公立別・大学規模別）
- ・ 記述式問題への意見（全体・国公立別・大学規模別）
- ・ 各入試方法における募集人員の増減予定

今回資料

2. センター試験の利用の実態

3. 個別選抜の実態

4. 英語資格・検定試験の活用の実態

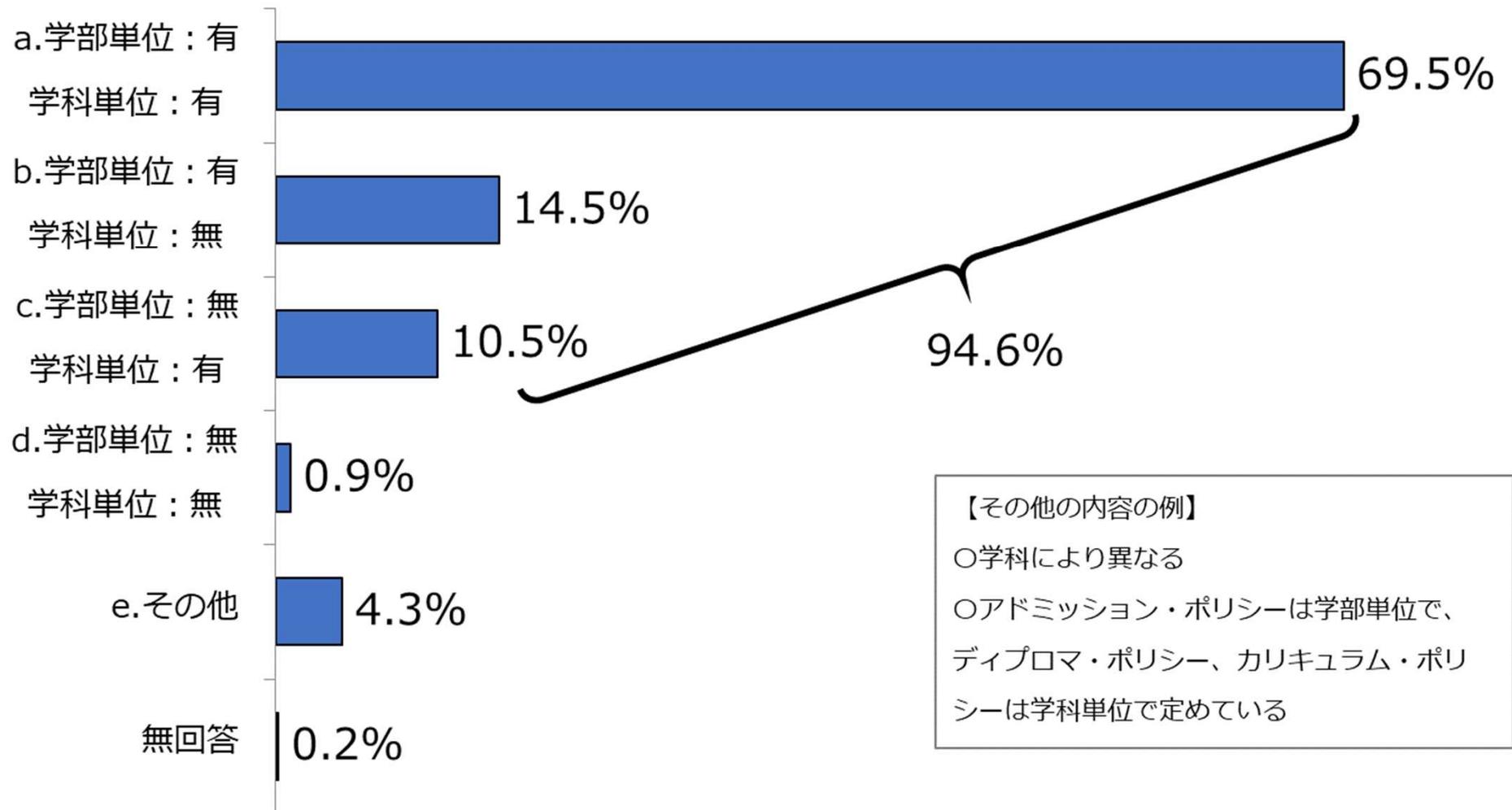
5. 記述式問題等の出題の実態

6. 入学者の多様性を確保するための取組の実態

7. 自由記述欄

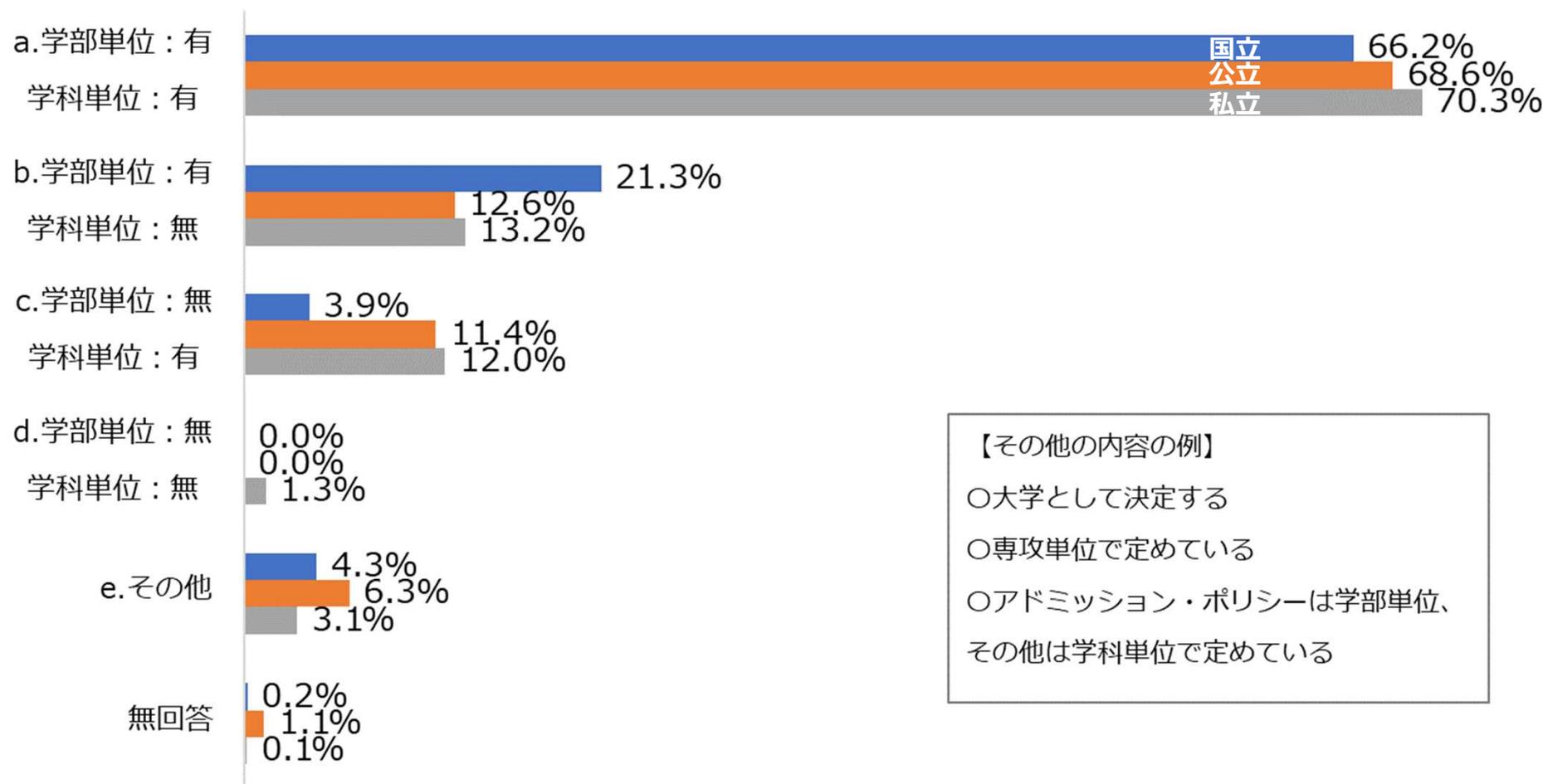
3つの方針の策定の有無

- 学部・学科単位両方で3つの方針（「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）、「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー））を定めている学部は69.5%。学部単位で定めている学部は14.5%、学科単位で定めている学部は10.5%。
- これらを合わせると、何らかの形で定めている学部は94.6%である。



3つの方針の策定の有無（国公立別）

- 国公立別では、学部・学科単位両方で3つの方針を定めている学部はいずれも7割前後（国立：66.2%、公立：68.6%、私立：70.3%）である。
- これに、学部単位で定めている学部（国立：21.3%、公立：12.6%、私立：13.2%）、学科単位で定めている学部（国立：3.9%、公立：11.4%、私立：12.0%）を合わせると、何らかの形で定めている学部は国立では91.4%、公立は92.6%、私立は95.5%である。



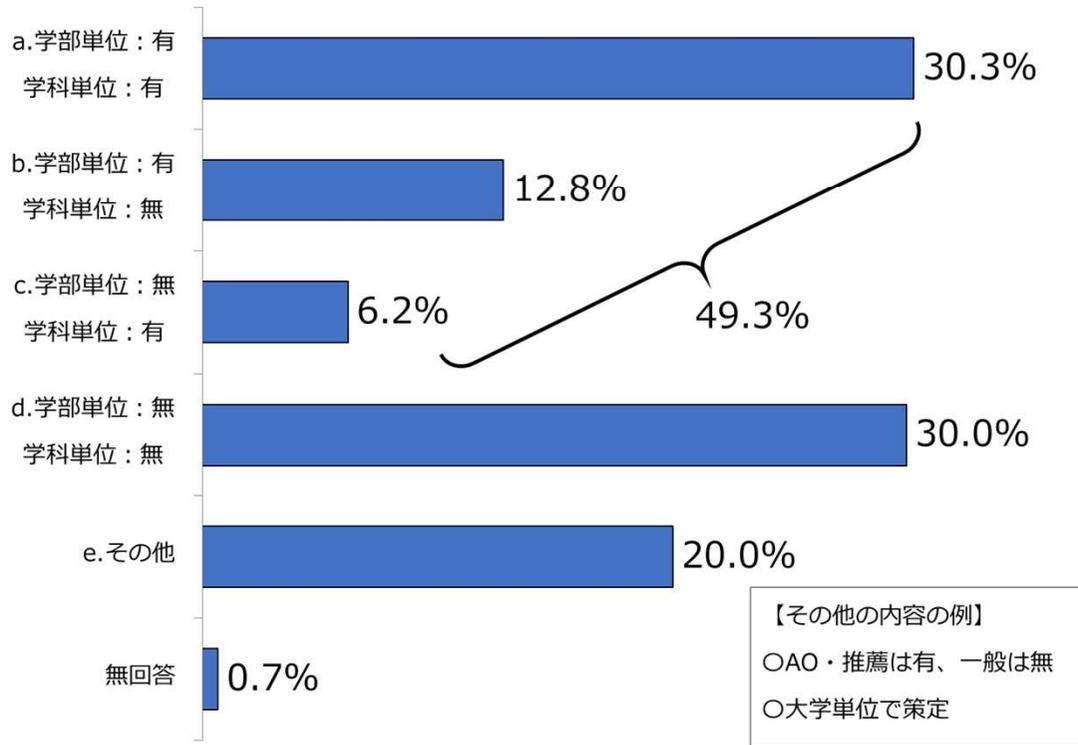
【その他の内容の例】

- 大学として決定する
- 専攻単位で定めている
- アドミッション・ポリシーは学部単位、
その他は学科単位で定めている

出題方針の策定・公表の有無

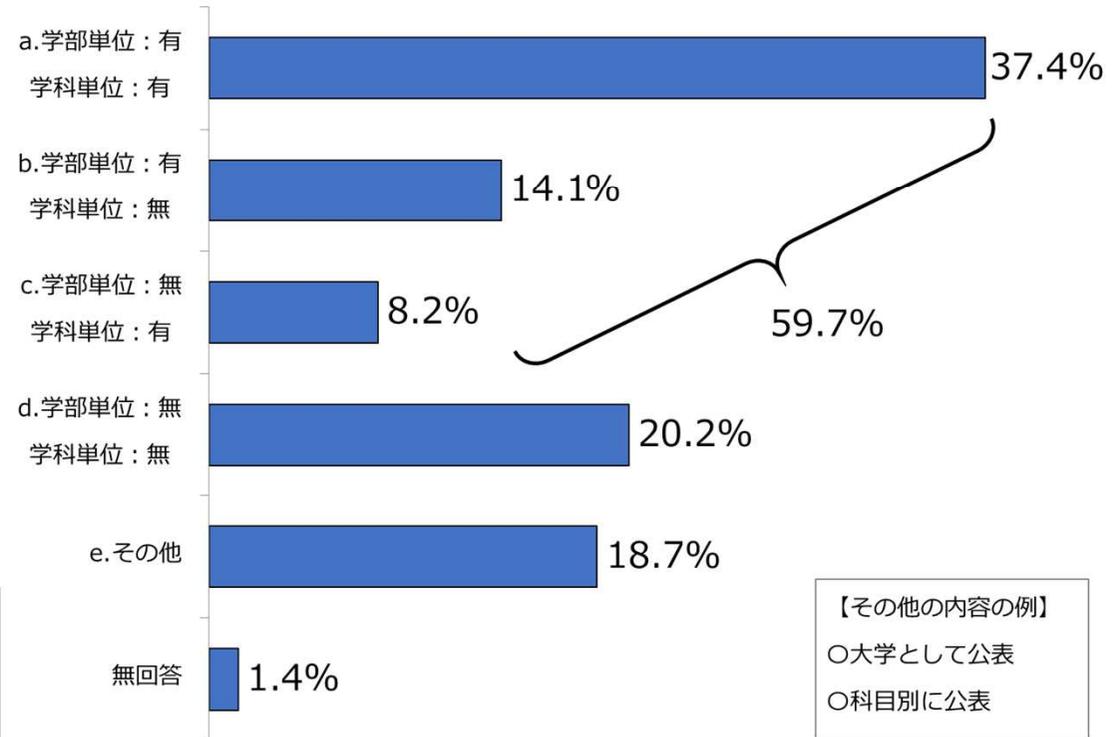
- 出題方針の策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせると半数程度 (a+b+c=49.3%)。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,556学部に対して、公表状況に関して質問したところ、「a.学部・学科とも公表」は37.4%、「b.学部のみで公表」は14.1%、「c.学科のみで公表」は8.2%となっており、これらを合わせて59.7%の学部が学部と学科の両方、学部ないし学科で出題方針を公表している。

出題方針の策定の有無



n=2,222学部
単数回答

出題方針の公表の有無

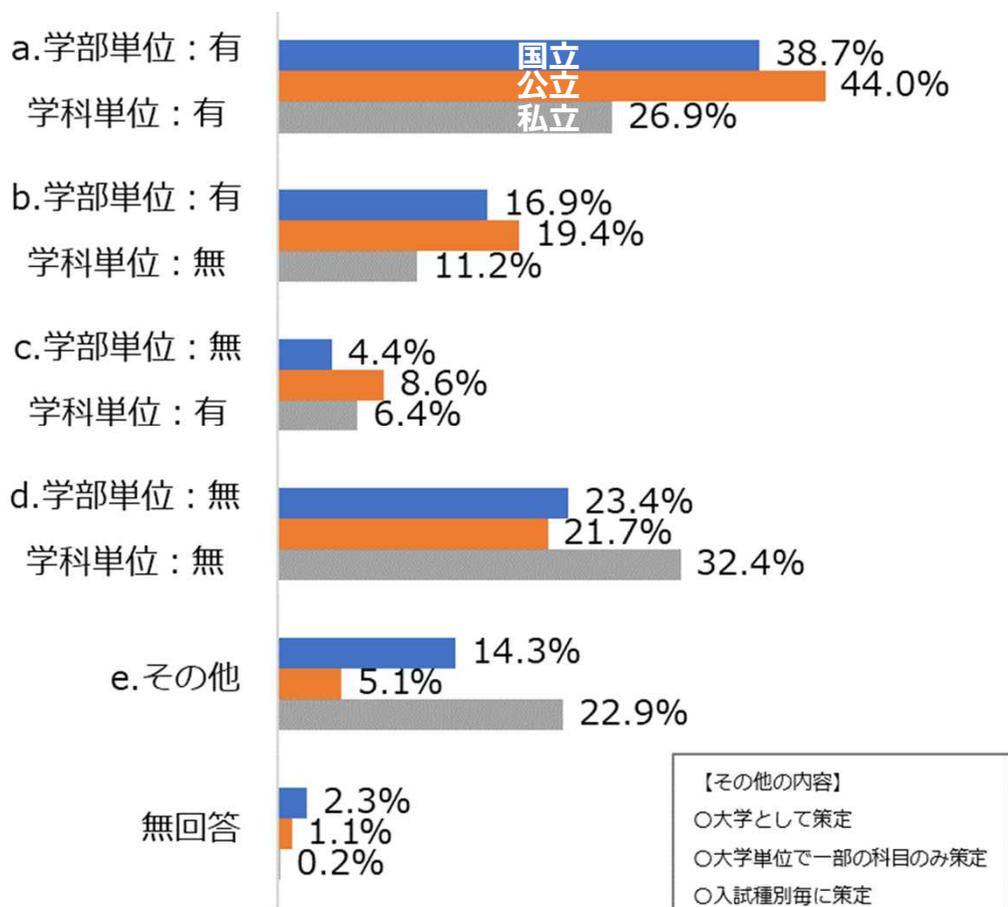


n=1,556学部
(出題方針をd.学部・学科とも策定していない学部を除く)
単数回答

出題方針の策定・公表の有無・公表（国公立別）

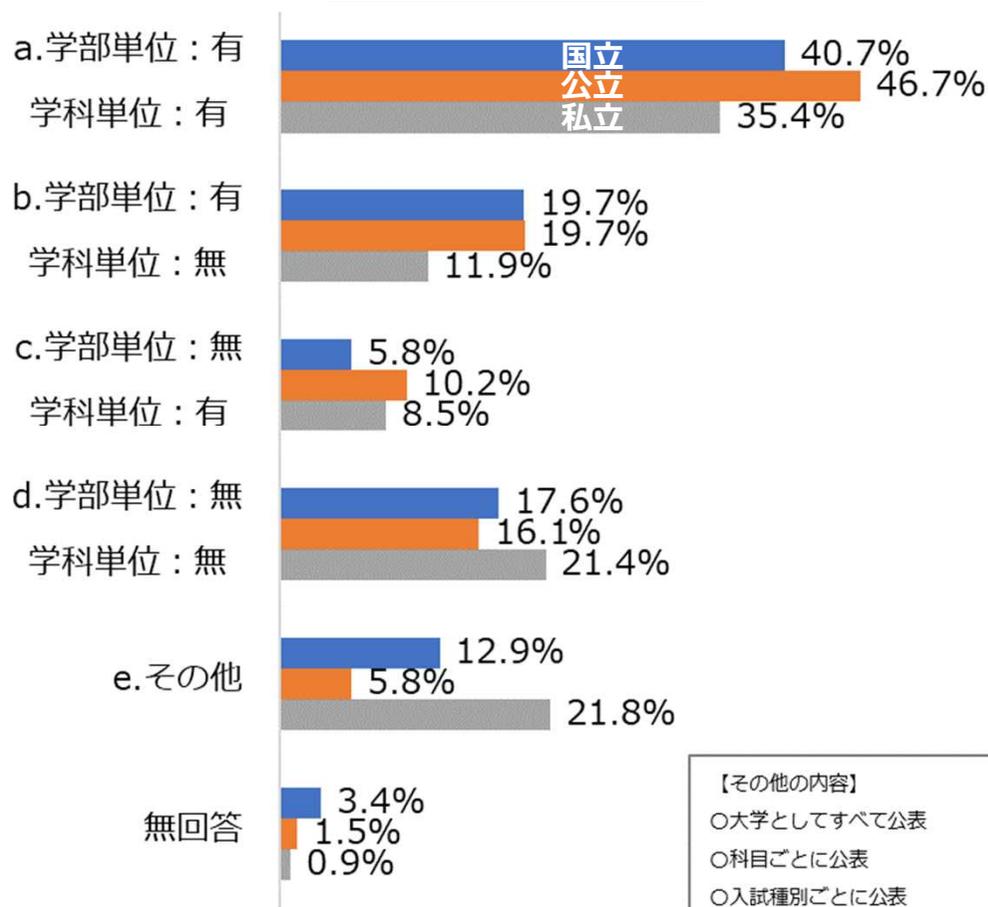
- 国公立別での策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせる(a+b+c)と国立は60.0%、公立は72.0%、私立は44.5%である。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,556学部に対して、公表状況に関して質問したところ、学部と学科の両方、学部ないし学科で出題方針を公表している学部を合わせる(a+b+c)と国立では66.2%、公立は76.6%。私立は55.8%である。

出題方針の策定の有無



国立 n=385学部 公立 n=175学部 私立 n=1,662学部
単数回答

出題方針の公表の有無

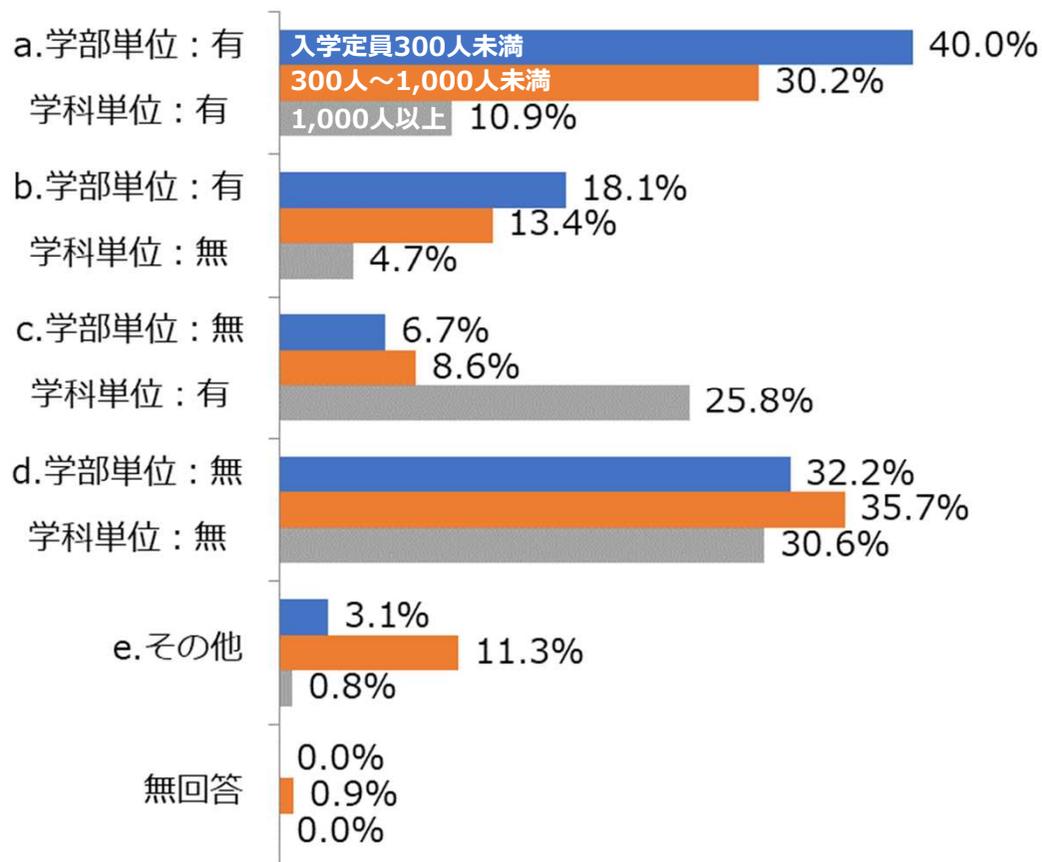


国立 n=295学部 公立 n=137学部 私立 n=1,124学部
(出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」学部を除く)
単数回答

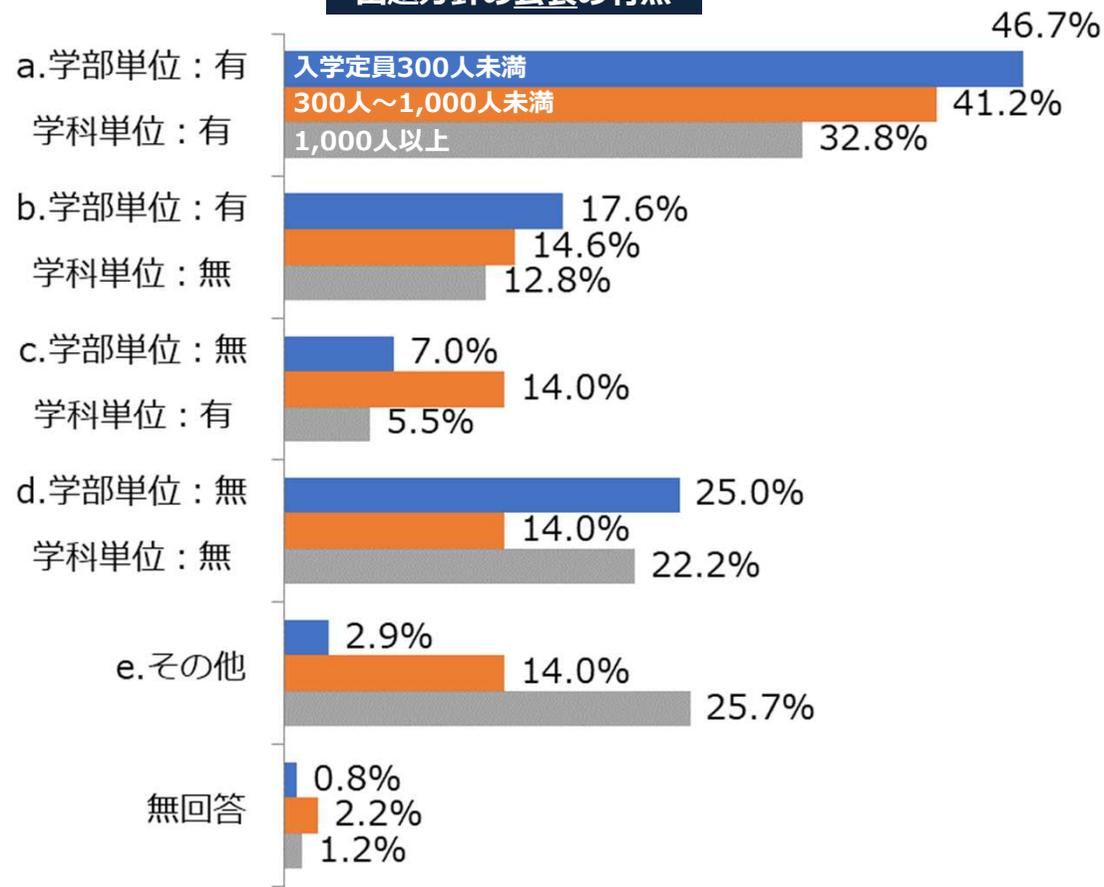
出題方針の策定の有無・公表（大学規模別）

- 大学規模別での策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせる(a+b+c)と入学定員300人未満では64.8%、300人～1,000人未満は52.2%、1,000人以上は41.4%である。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,556学部に対して、公表状況に関して質問したところ、学部と学科の両方、学部ないし学科で出願方針を公表している学部を合わせる(a+b+c)と、入学定員300人未満では71.3%、300人～1,000人未満は69.8%、1,000人以上は51.1%である。

出題方針の策定の有無



出題方針の公表の有無



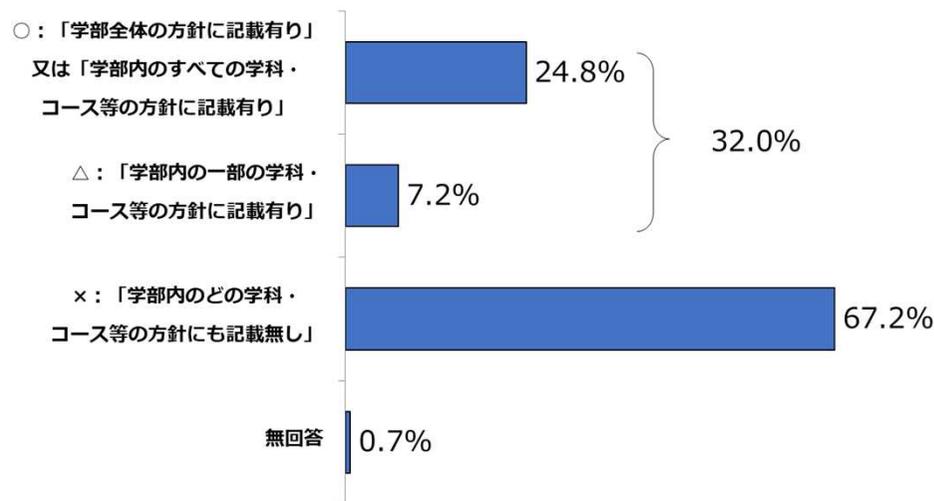
入学定員300人未満 n=360学部
300人～1,000人未満 n=701学部
1,000人以上 n=1,161学部
単数回答

300人未満 n=244学部 300人～1,000人未満 n=451学部 1,000人以上 n=861学部
(出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」学部を除く)
単数回答

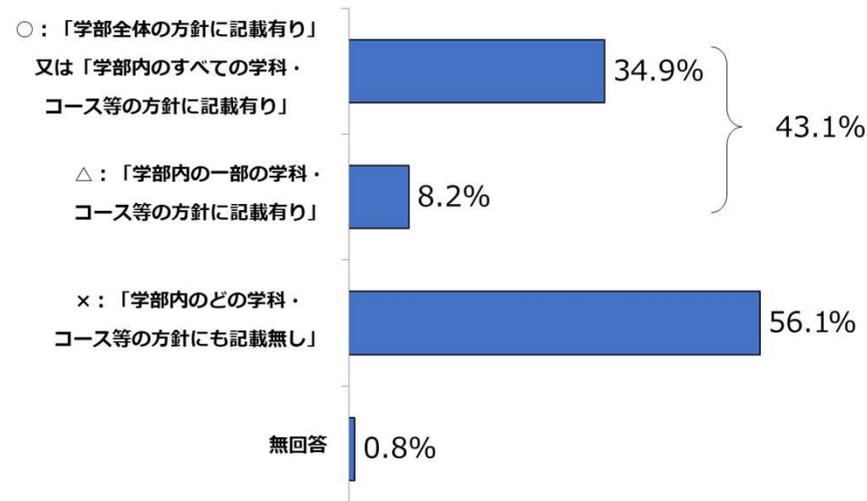
3つの方針等における英語の能力に関する記載

英語の能力について、①卒業認定・学位授与の方針への記載が「学部全体の方針に記載有り」又は「学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」は24.8%、②教育課程編成・実施の方針への記載は34.9%、③入学者の受入れに関する方針への記載は37.0%、④出題方針への記載は26.7%である。

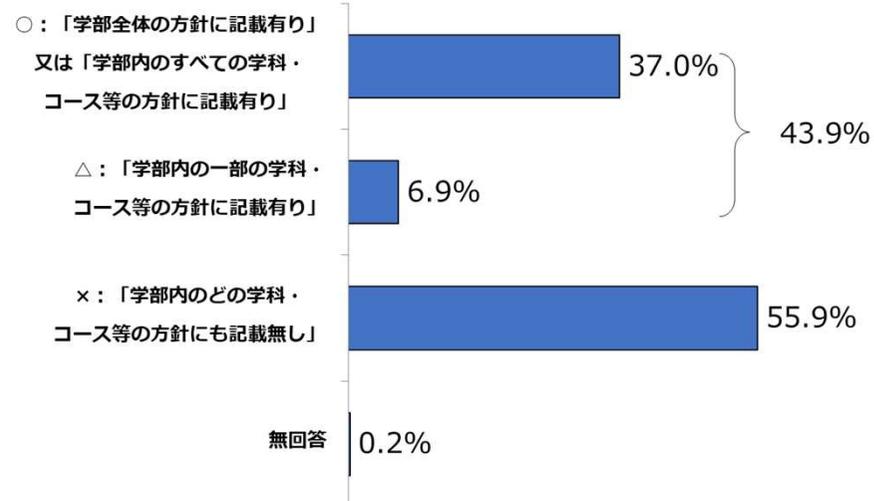
【①卒業認定・学位授与の方針】



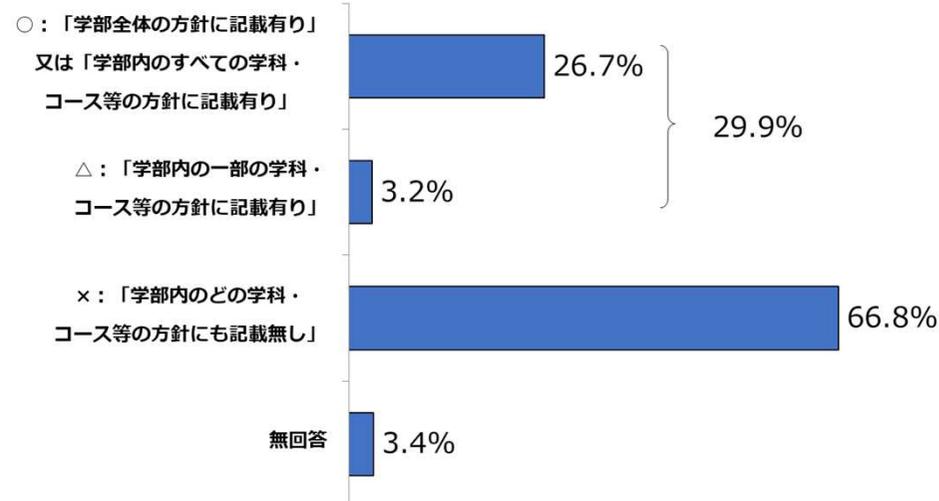
【②教育課程編成・実施の方針】



【③入学者受入れの方針】



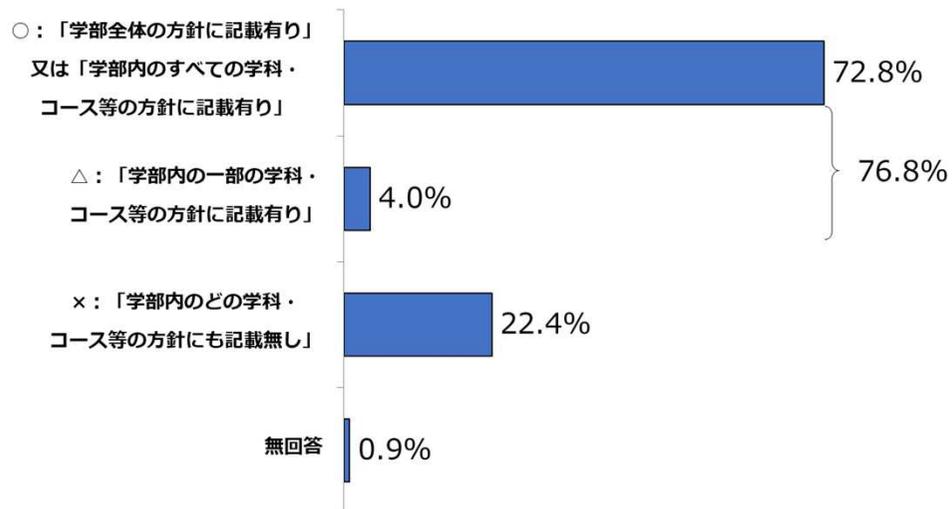
【④出題方針】



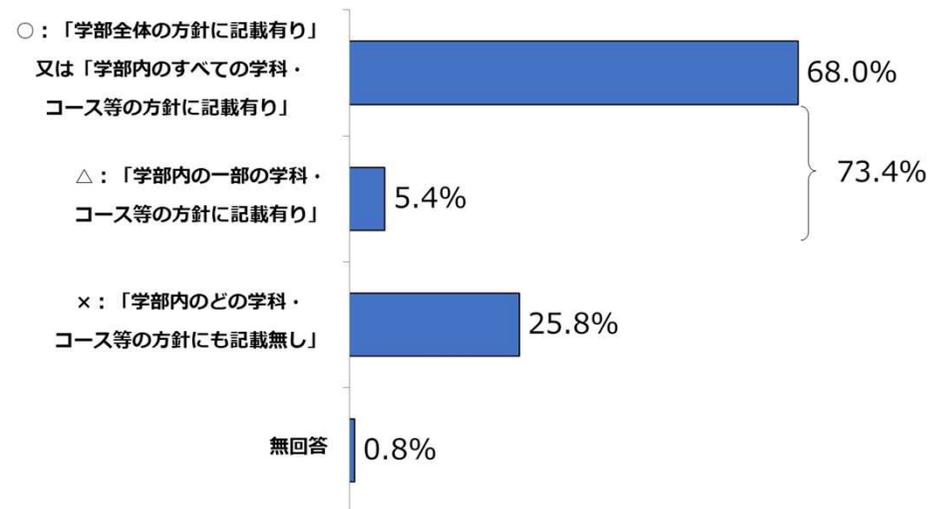
3つの方針等における【思考力・判断力・表現力】の育成・評価に関する記載

【思考力・判断力・表現力】の育成・評価について、①卒業認定・学位授与の方針への記載が「学部全体の方針に記載有り」又は「学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」は72.8%、②教育課程編成・実施の方針への記載は68.0%、③入学者の受入れに関する方針への記載は80.4%、④出題方針への記載は45.3%である。

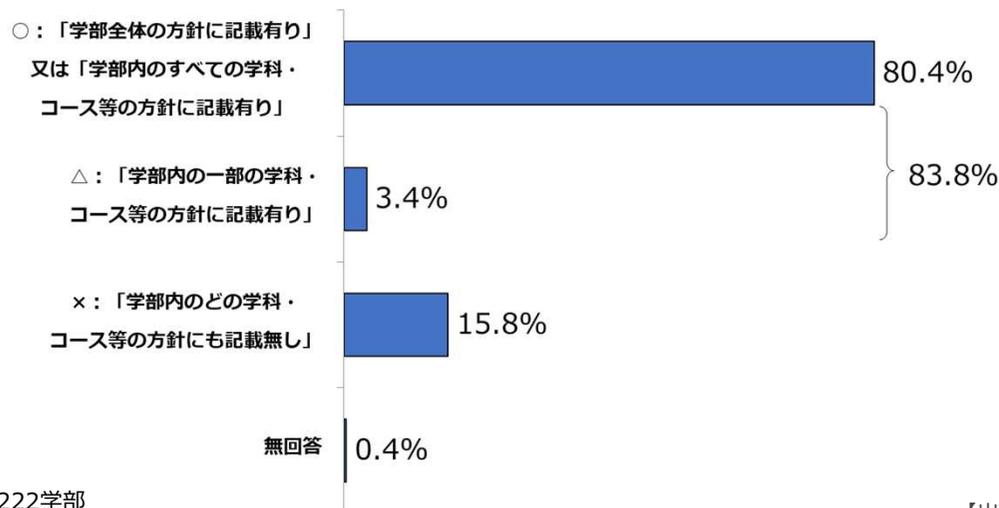
【①卒業認定・学位授与の方針】



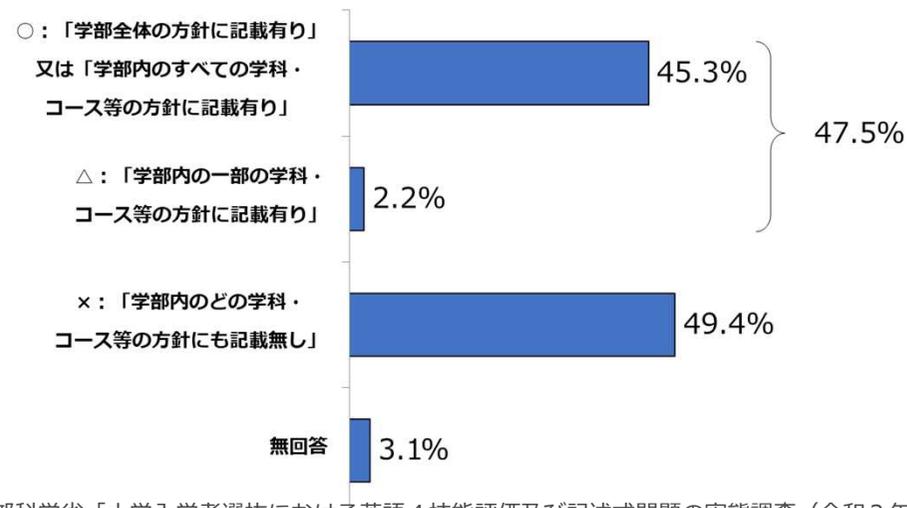
【②教育課程編成・実施の方針】



【③入学者受入れの方針】



【④出題方針】



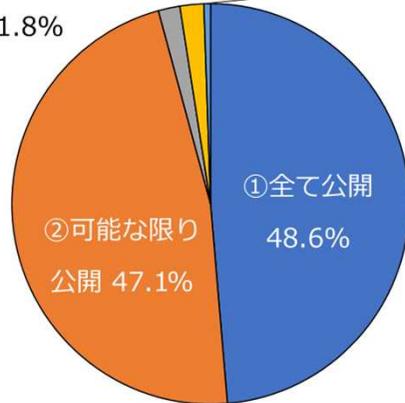
個別学力検査試験問題の公表状況

個別学力検査試験問題を全て公開する学部(48.6%)、可能な限り公開する学部(47.1%)を合わせると9割以上になる。問題を公開していない学部は1.8%である。

全体

(n=2,222学部・単数回答)

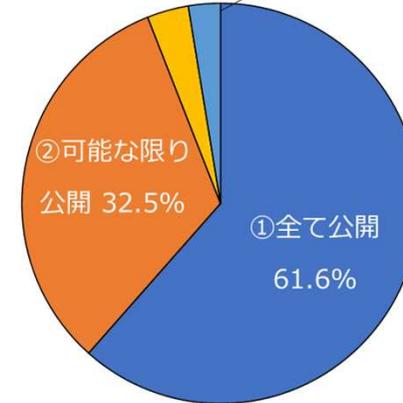
④学力試験を課していない 1.9% 無回答 0.5%
③非公開 1.8%



国立大学

(n=385学部・単数回答)

④学力試験を課していない 3.4% 無回答 2.6%

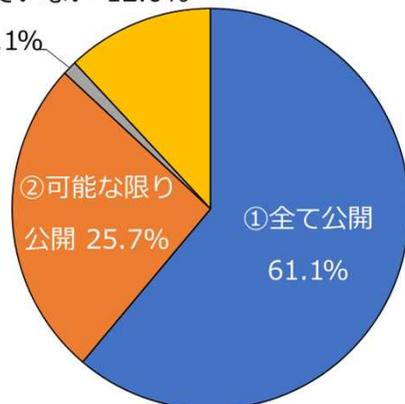


公立大学

(n=175学部・単数回答)

④学力試験を課していない 12.0%

③非公開 1.1%



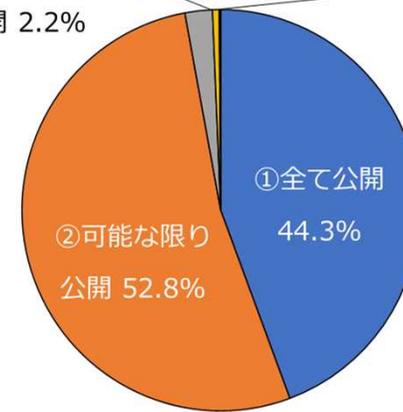
私立大学

(n=1,662学部・単数回答)

④学力試験を課していない 0.5%

③非公開 2.2%

無回答 0.1%



【参考】大学入学者選抜実施要項（抄）

第13 その他注意事項

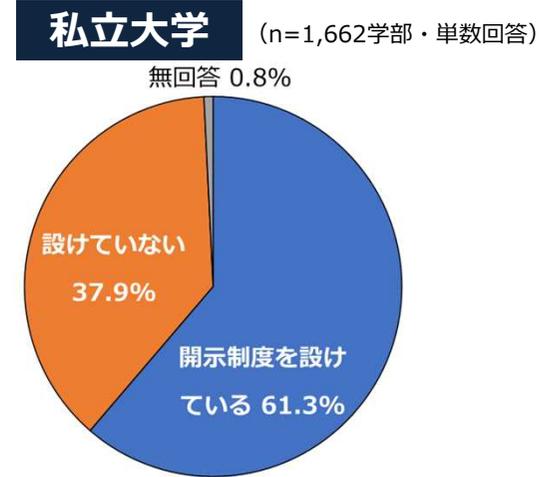
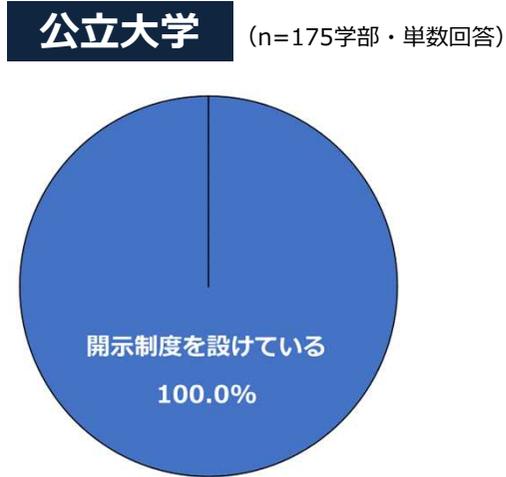
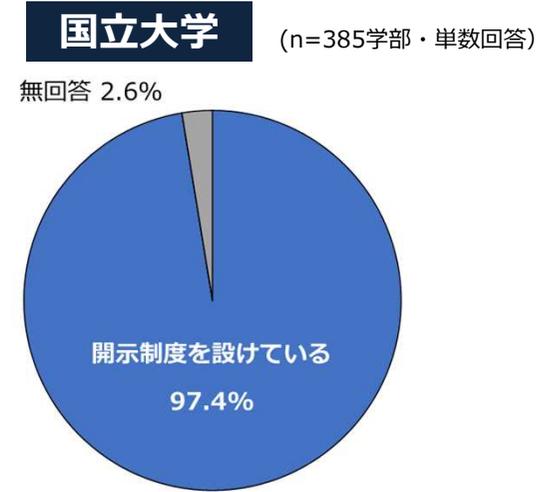
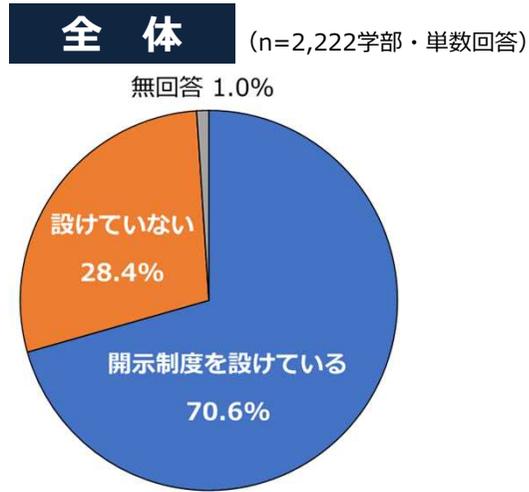
2 入試情報の取扱い

(1)個別学力検査における試験問題やその解答については、当該入試の実施以降に受験者や次年度以降の入学志願者が学習上参考にできるようにするため、次のとおり取り扱うものとする。

①試験問題については、原則として公表するものとする。（略）

受験者本人への成績開示制度

受験者本人への成績開示制度を設けている割合は70.6%である。



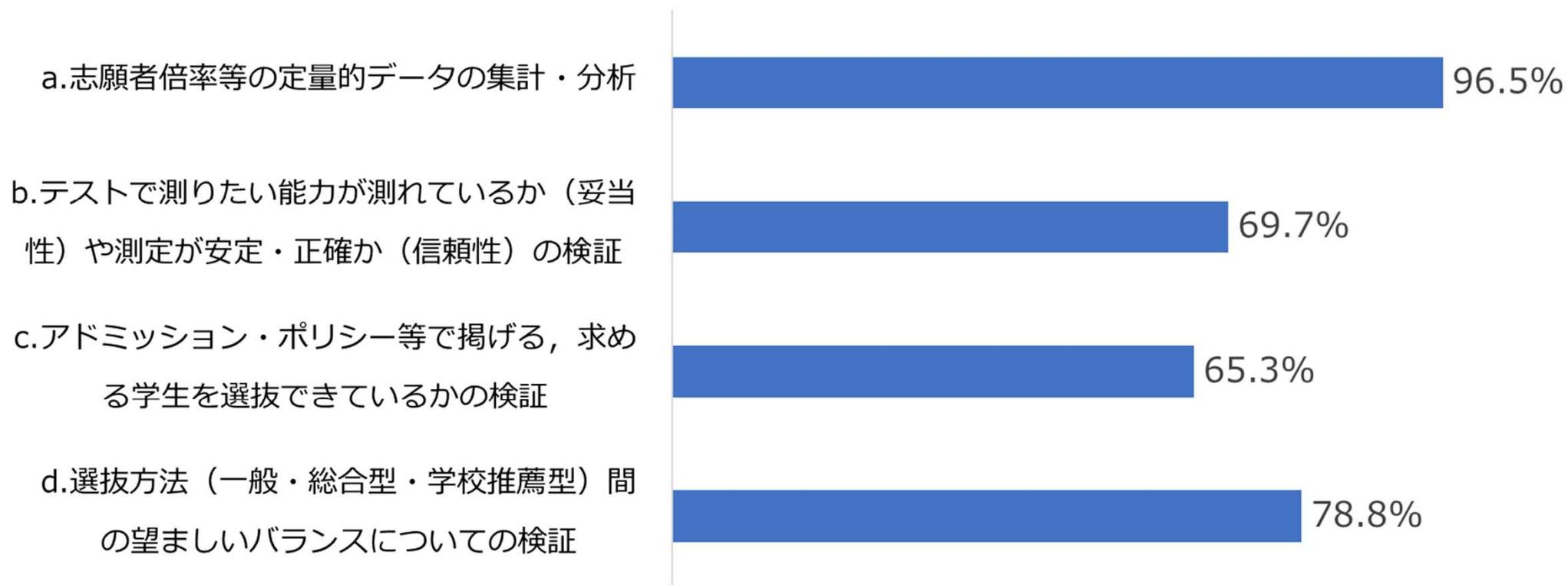
【参考】大学入学者選抜実施要項（抄）

第13 その他注意事項

2 入試情報の取扱い

(2) 各大学は、受験者本人への成績開示（略）等の入試情報の積極的開示に努める。（略）

選抜の妥当性・信頼性等の検証



【参考】大学入学者選抜実施要項（抄）

第13 その他注意事項

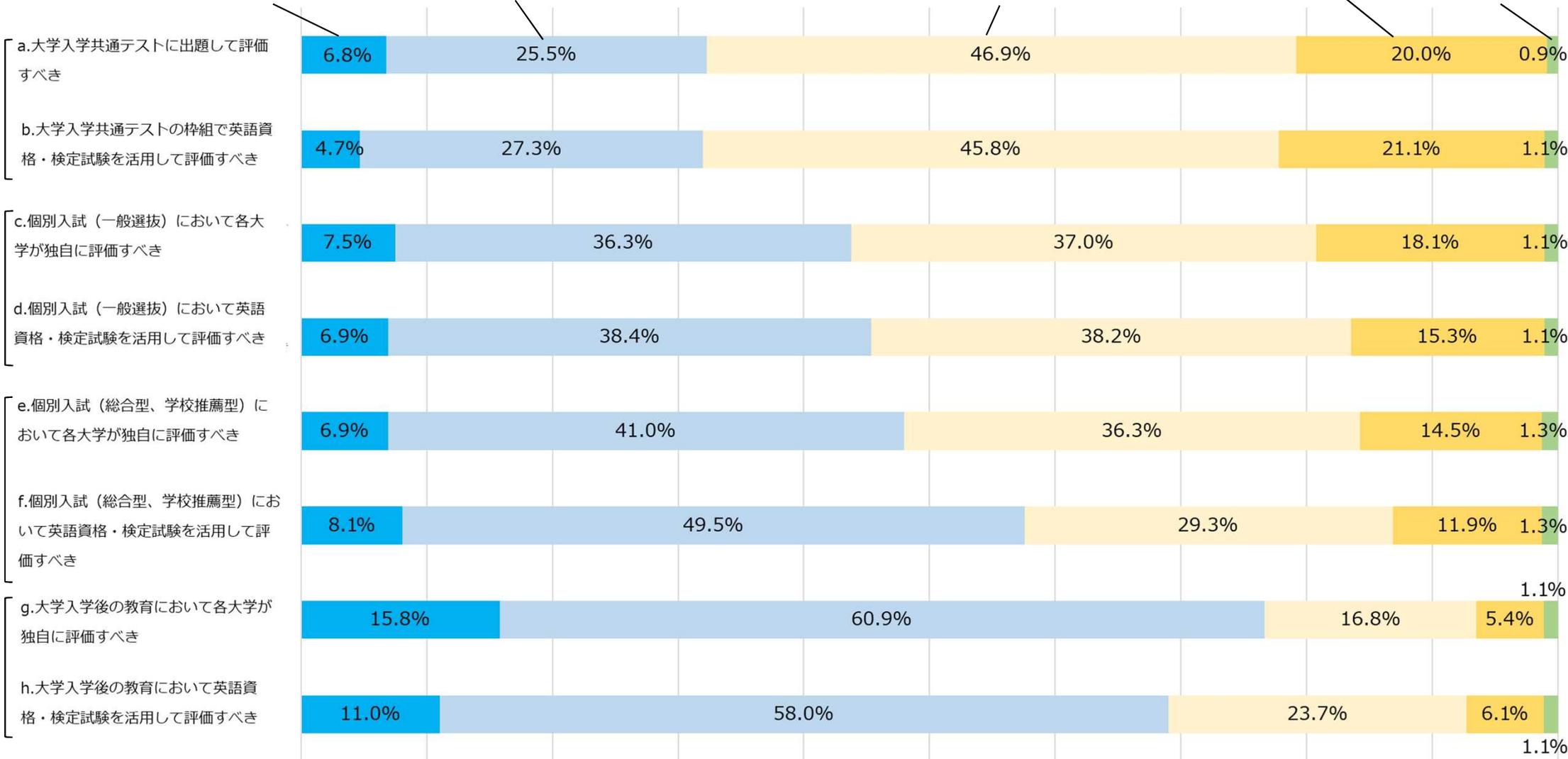
8 その他

(1) 各大学は、入試に関する研究委員会を設け、入学者の追跡調査等により、選抜の妥当性・信頼性の検証を行い、その成果を入試に反映させることが望ましい。

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見

英語のスピーキング・ライティングの評価方法について、肯定的回答（とてもそう思う+そう思う）をしたのが、「a.共通テストで評価」で32.3%、「b.共通テストの枠組みで英語資格・検定試験を活用して評価」で32.0%、「c.一般入試で独自に評価」で43.8%、「d.一般入試で英語資格・検定試験を活用して評価」で45.3%、「e.総合型入試等で独自に評価」で45.3%、「f.総合型入試等において英語資格・検定試験を活用して評価」で57.6%、「g.入学後に独自に評価」で76.7%、「h.入学後に英語資格・検定試験を活用して評価」で69.0%。

とてもそう思う そう思う あまりそう思わない そう思わない 無回答



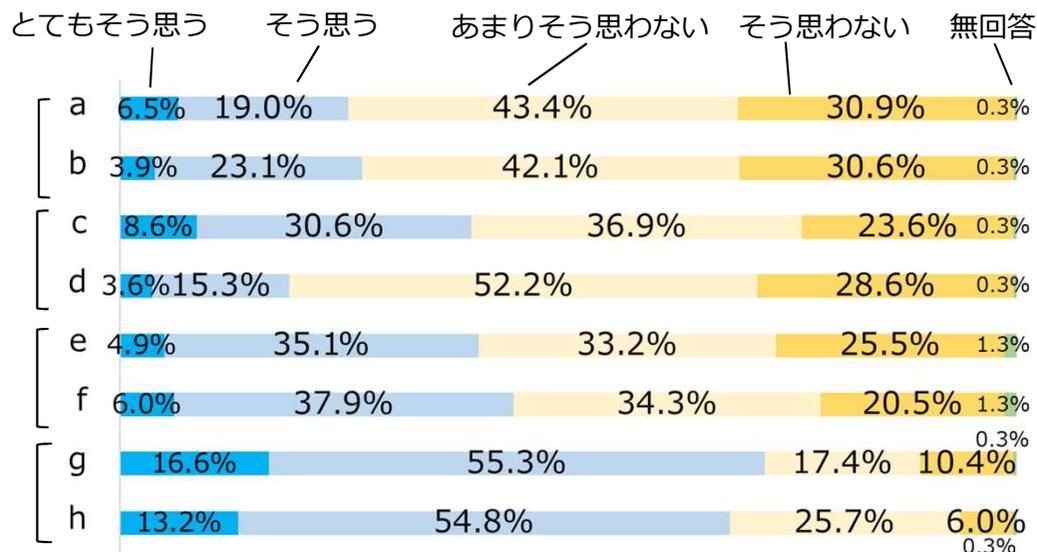
n=2,222学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語4技能評価及び記述式問題の実態調査（令和2年度）」

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見（国公立別）

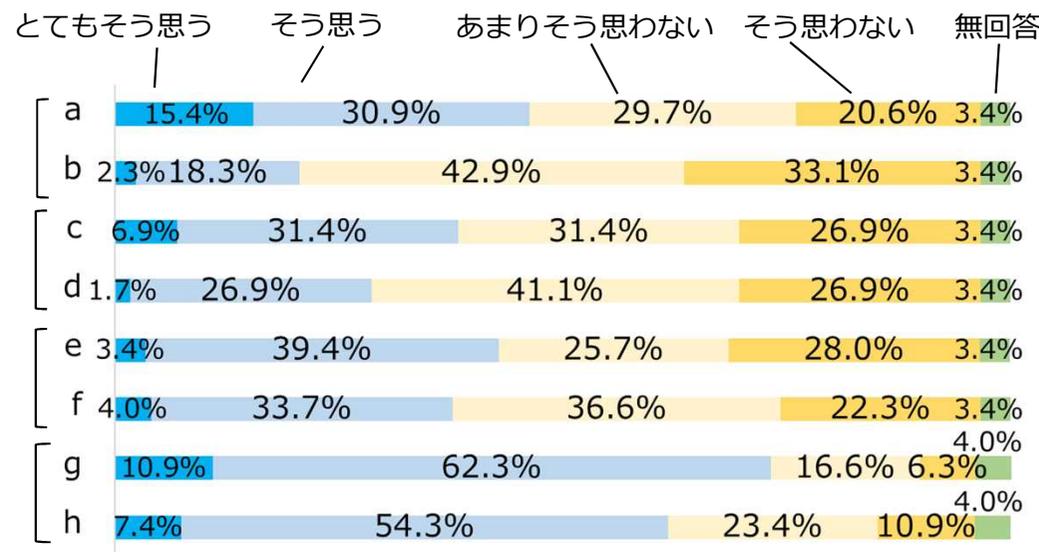
国立大学

(n=385学部・単数回答)



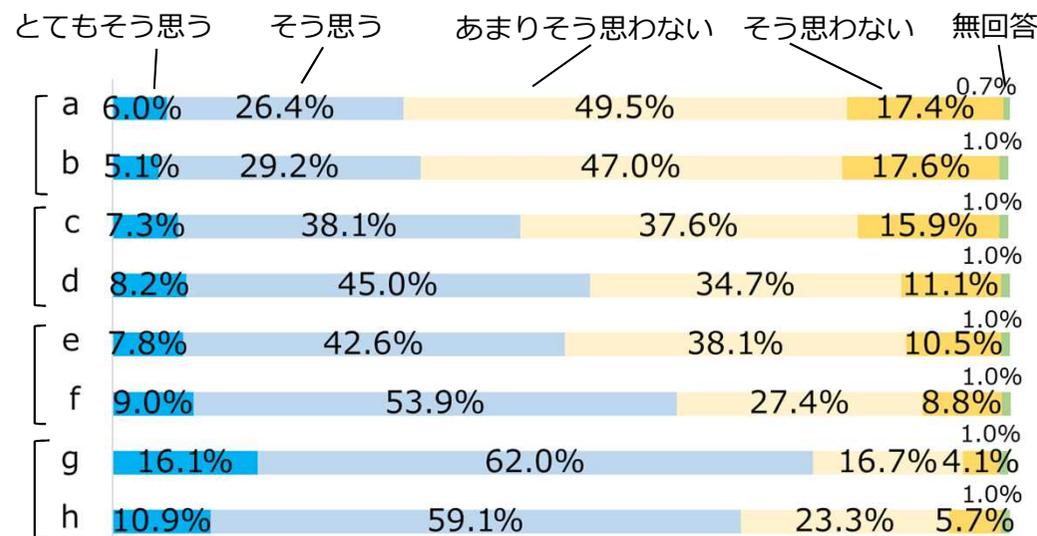
公立大学

(n=175学部・単数回答)



私立大学

(n=1,662学部・単数回答)



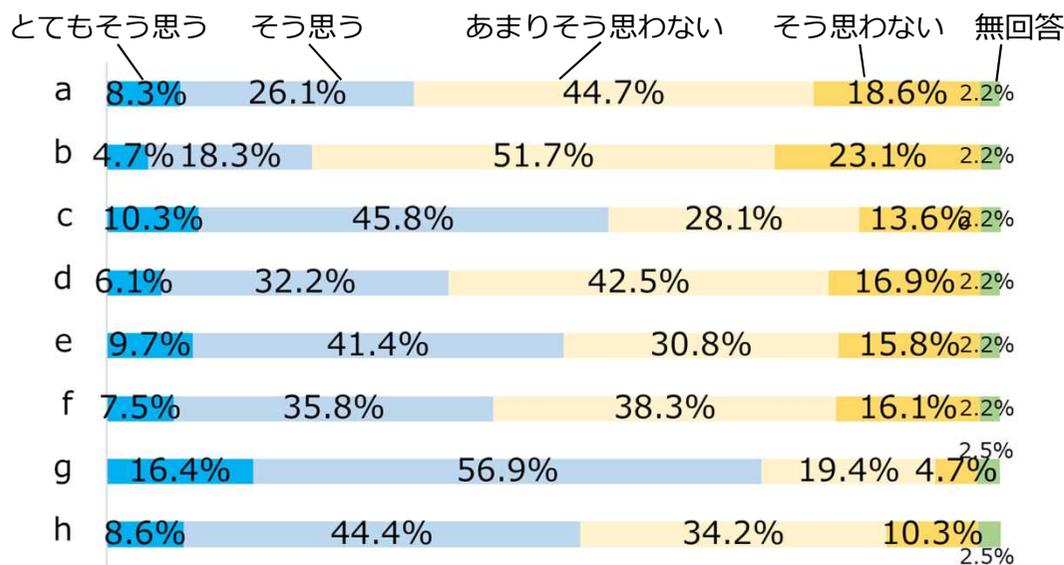
【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストに出題して評価すべき
- b. 大学入学共通テストの枠組で英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- c. 個別入試（一般選抜）において各大学が独自に評価すべき
- d. 個別入試（一般選抜）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- e. 個別入試（総合型、学校推薦型）において各大学が独自に評価すべき
- f. 個別入試（総合型、学校推薦型）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- g. 大学入学後の教育において各大学が独自に評価すべき
- h. 大学入学後の教育において英語資格・検定試験を活用して評価すべき

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見（大学規模別）

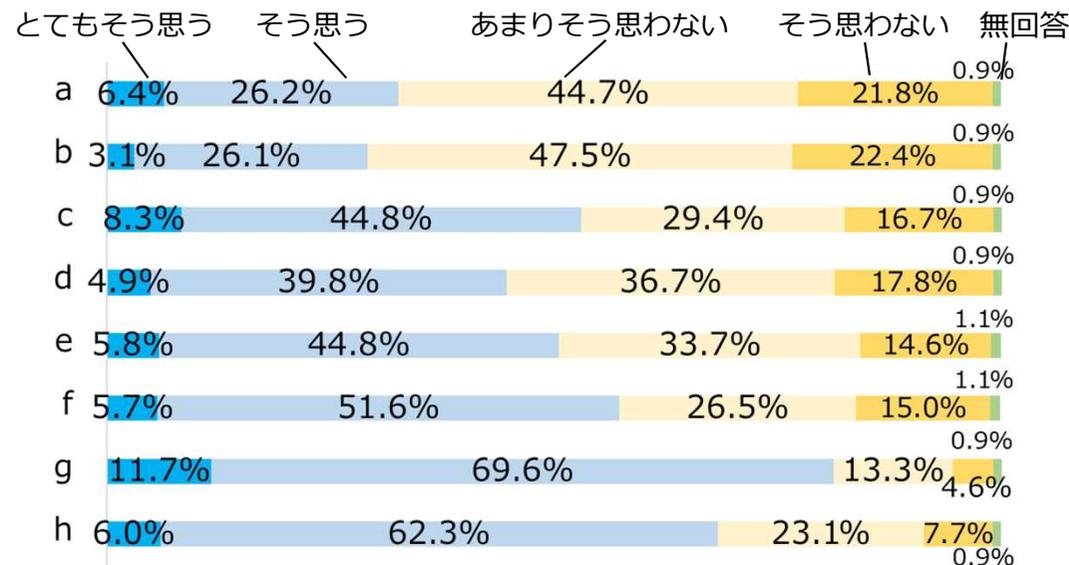
入学定員：300人未満

(n=360学部・単数回答)



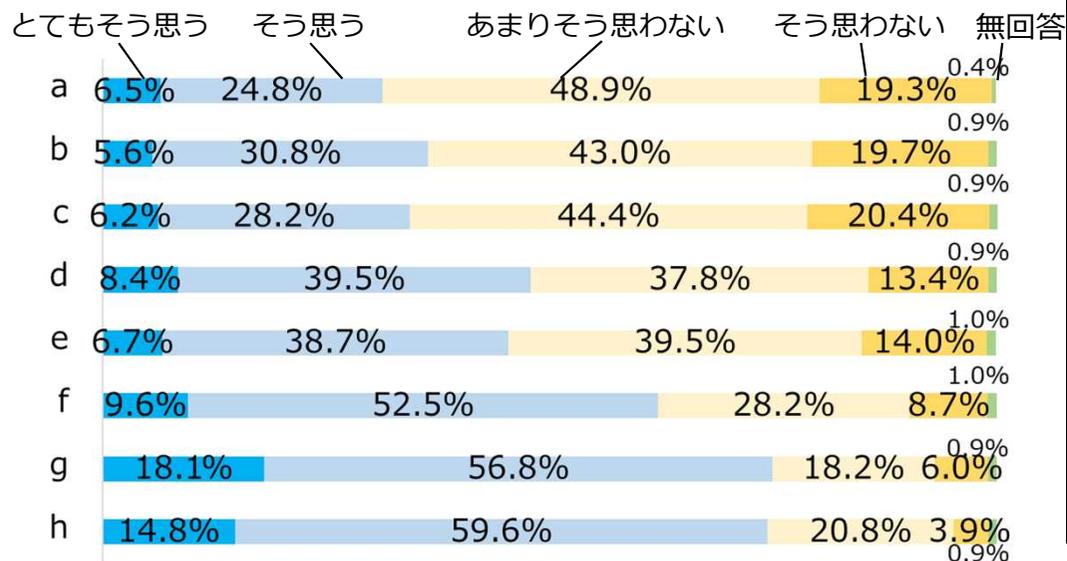
入学定員：300人～1,000人未満

(n=701学部・単数回答)



入学定員：1,000人以上

(n=1,161学部・単数回答)

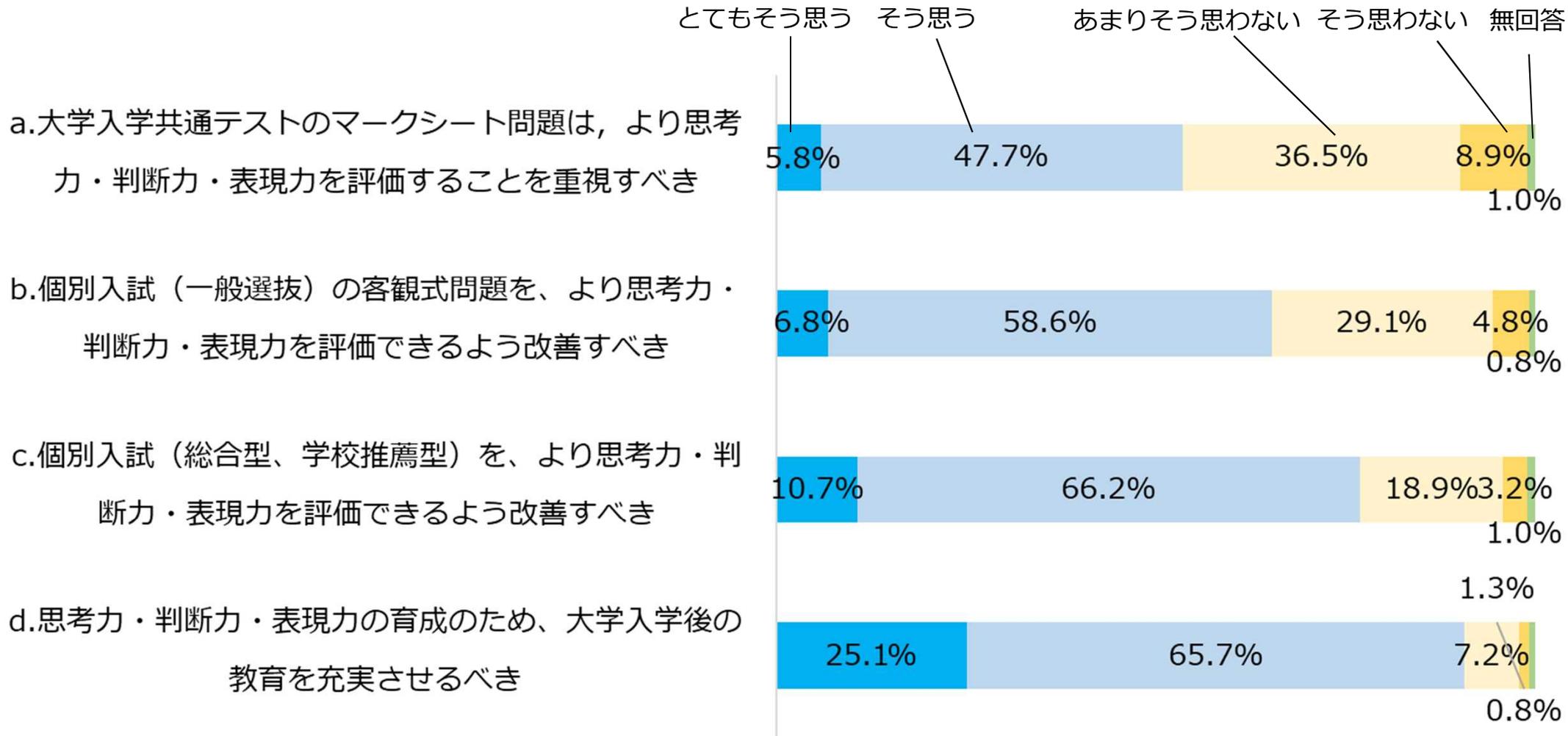


【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストに出題して評価すべき
- b. 大学入学共通テストの枠組で英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- c. 個別入試（一般選抜）において各大学が独自に評価すべき
- d. 個別入試（一般選抜）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- e. 個別入試（総合型、学校推薦型）において各大学が独自に評価すべき
- f. 個別入試（総合型、学校推薦型）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
- g. 大学入学後の教育において各大学が独自に評価すべき
- h. 大学入学後の教育において英語資格・検定試験を活用して評価すべき

大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか

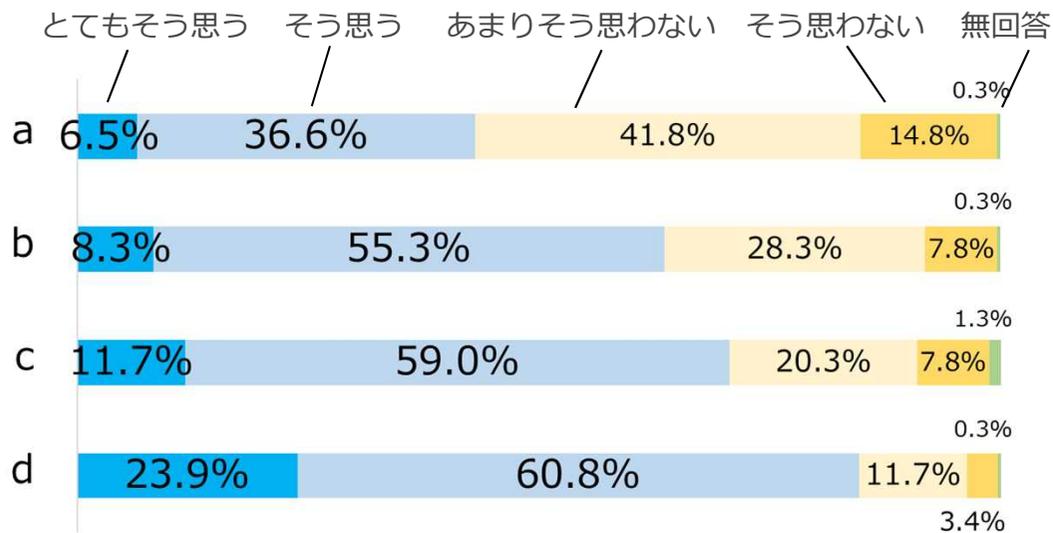
大学入試において思考力・判断力・表現力を評価すべきかについて、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をしたのが、
 「a.共通テストで評価」で53.5%、
 「b.一般入試で評価」で65.4%、
 「c.総合型入試等で評価」で76.9%、
 「d.入学後に充実」で90.8%。



大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか（国公立別）

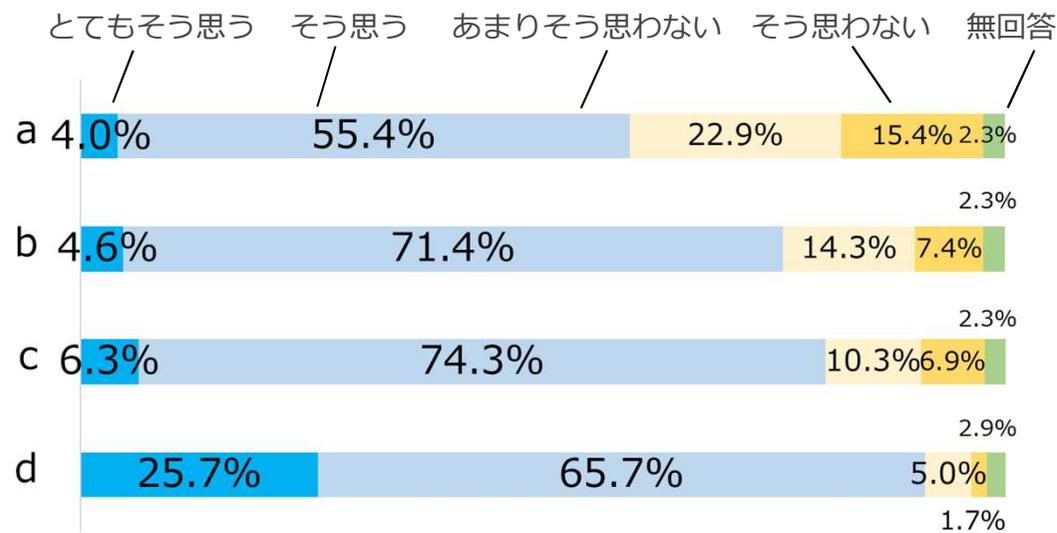
国立大学

(n=385学部・単数回答)



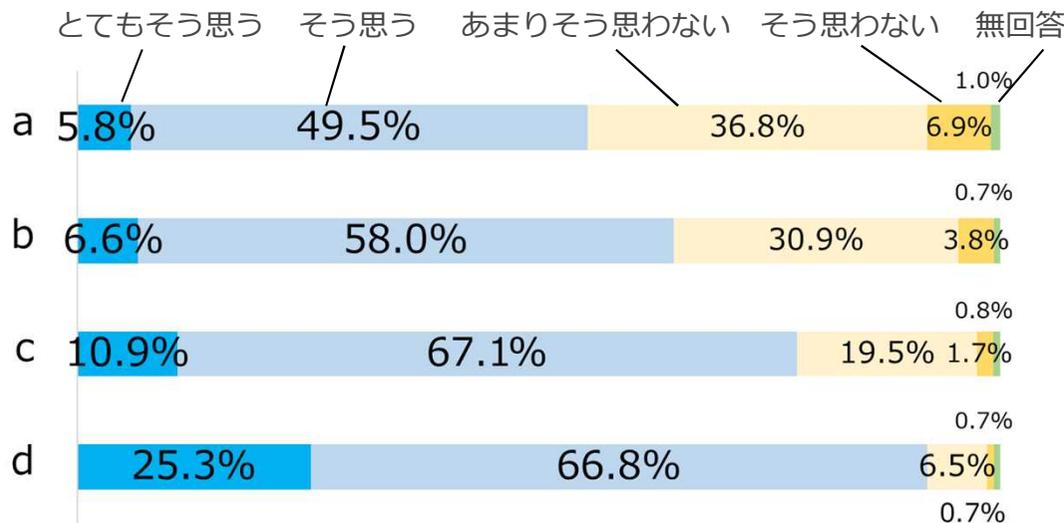
公立大学

(n=175学部・単数回答)



私立大学

(n=1,662学部・単数回答)



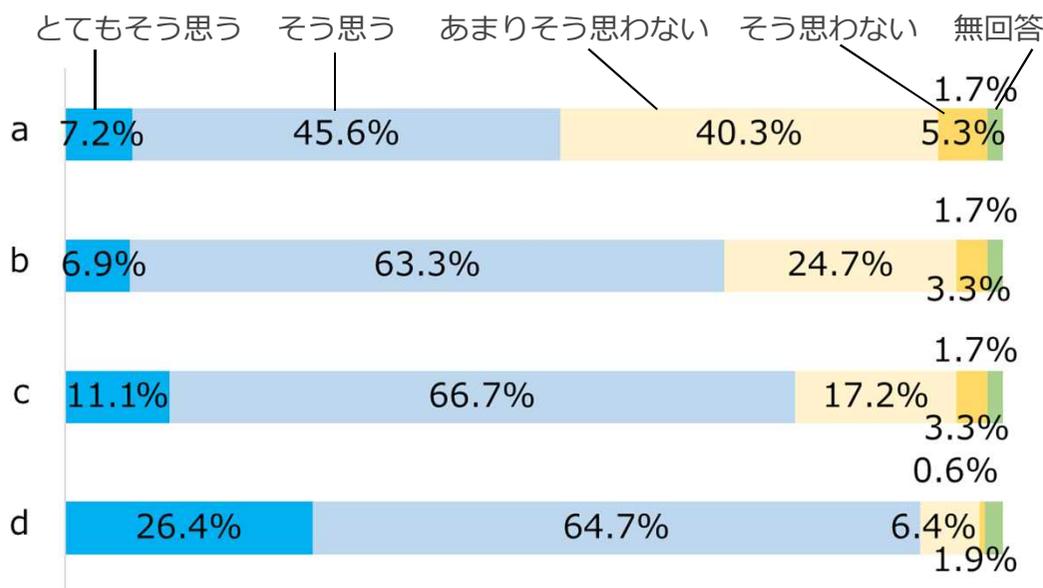
【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストのマークシート問題は、より思考力・判断力・表現力を評価することを重視すべき
- b. 個別入試（一般選抜）の客観式問題を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき
- c. 個別入試（総合型、学校推薦型）を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき
- d. 思考力・判断力・表現力の育成のため、大学入学後の教育を充実させるべき

大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか（大学規模別）

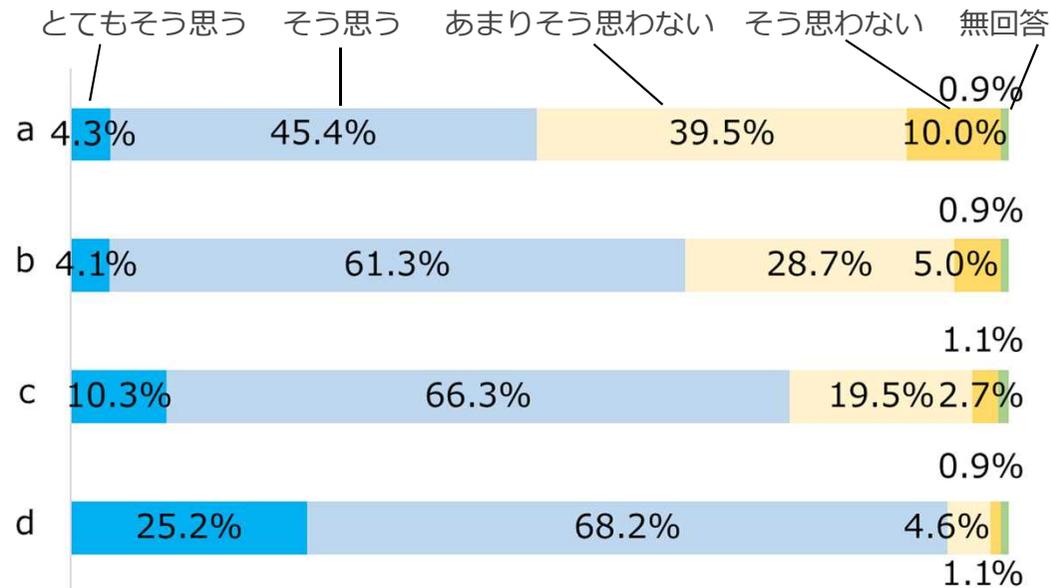
入学定員：300人未満

(n=360学部・単数回答)



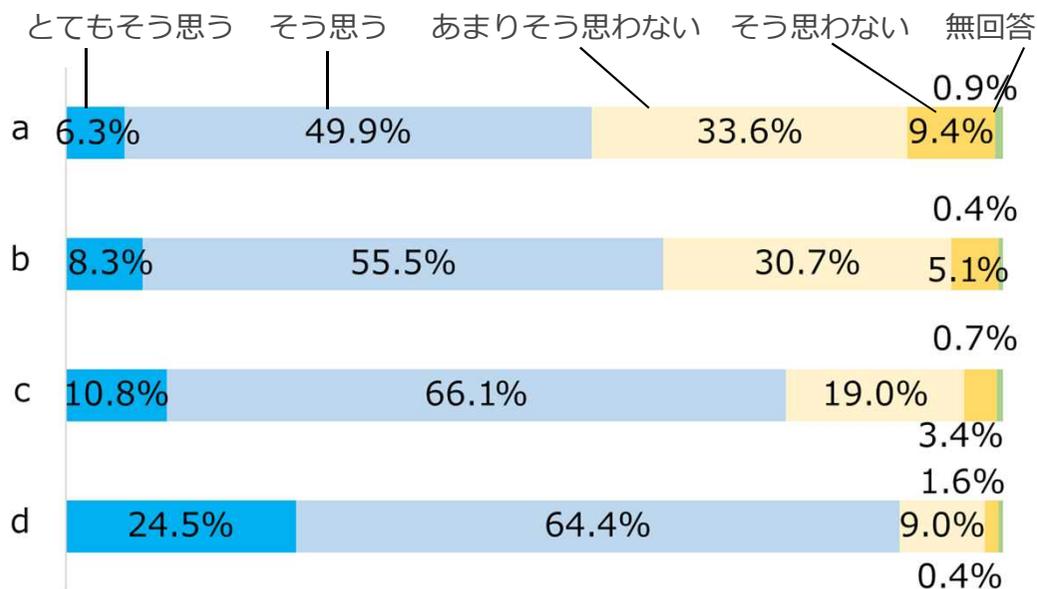
入学定員：300人～1,000人未満

(n=701学部・単数回答)



入学定員：1,000人以上

(n=1,161学部・単数回答)

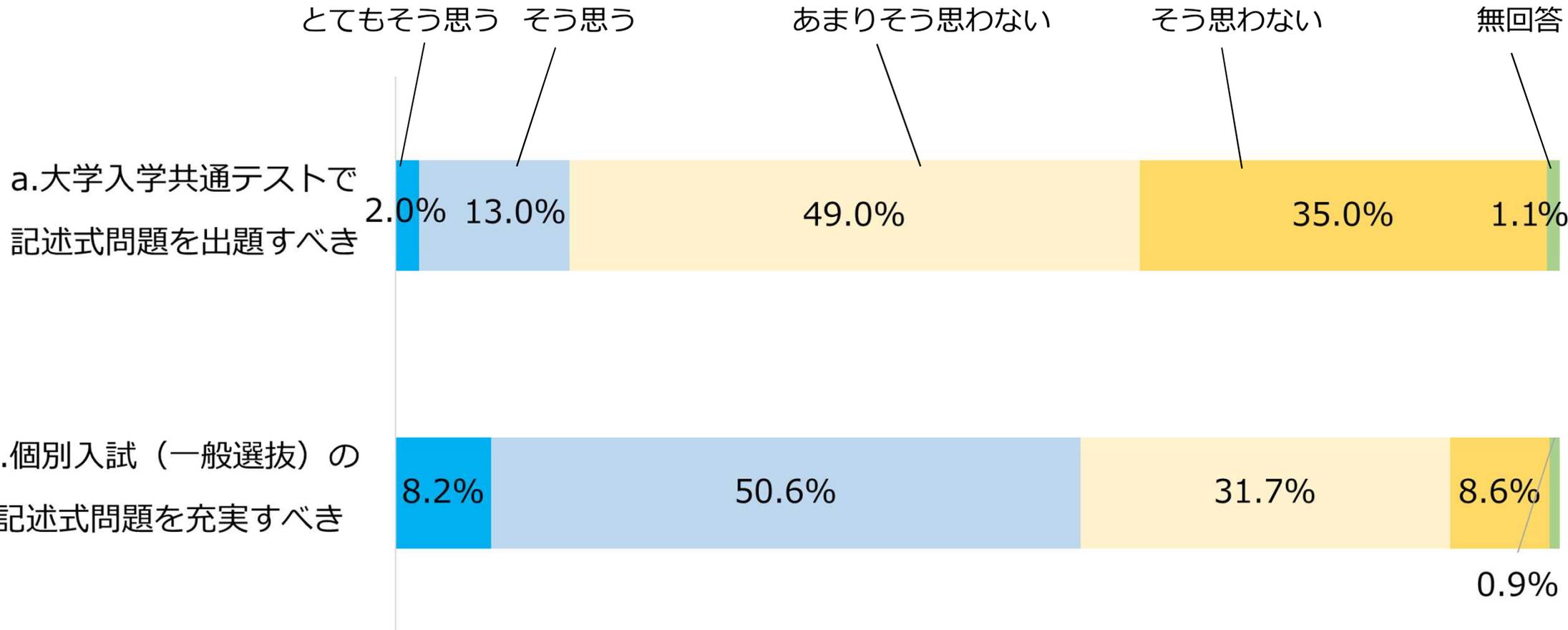


【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストのマークシート問題は、より思考力・判断力・表現力を評価することを重視すべき
- b. 個別入試（一般選抜）の客観式問題を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき
- c. 個別入試（総合型、学校推薦型）を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき
- d. 思考力・判断力・表現力の育成のため、大学入学後の教育を充実させるべき

記述式問題への意見

記述式問題について、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をしたのが、
「a.共通テストで出題」で15.0%、
「b.一般入試で充実」で58.8%。



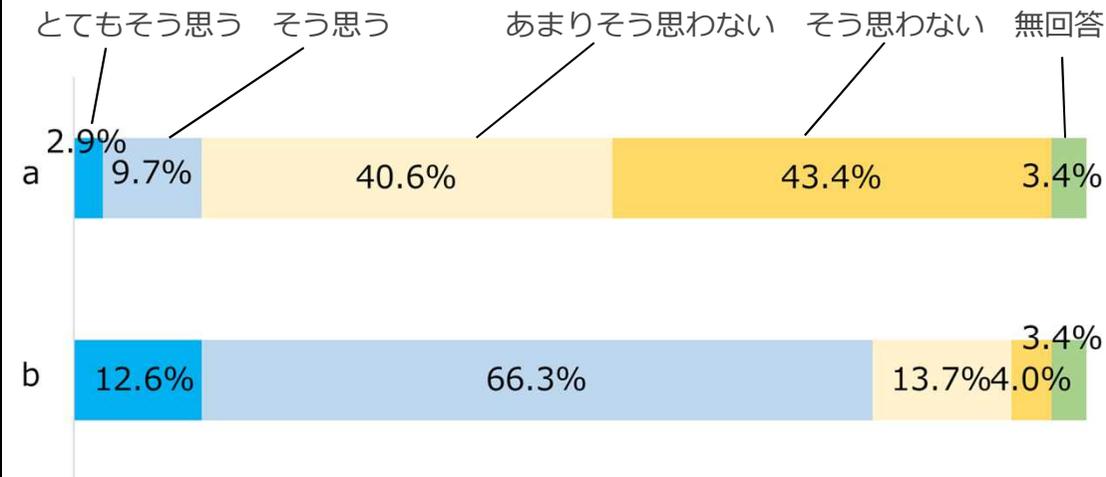
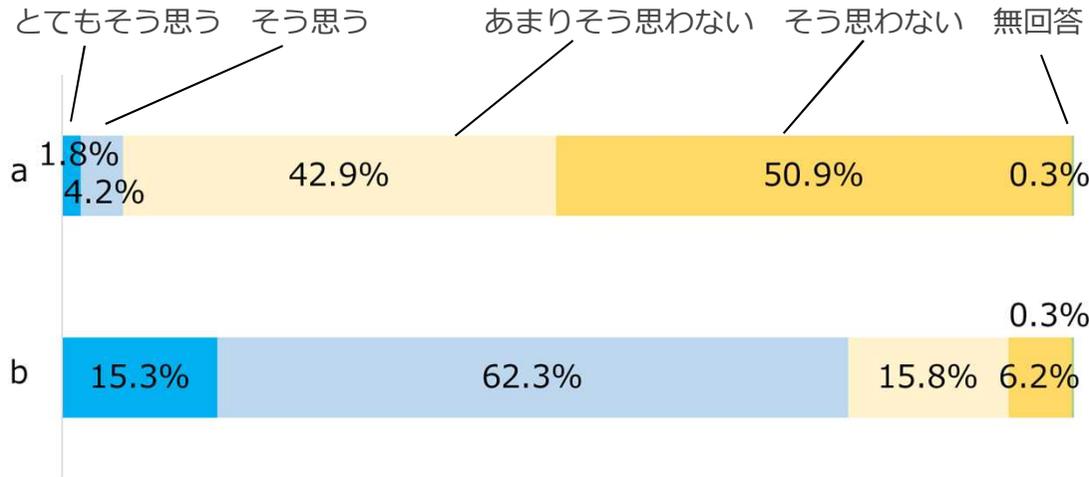
記述式問題への意見（国公立別）

国立大学

(n=385学部・単数回答)

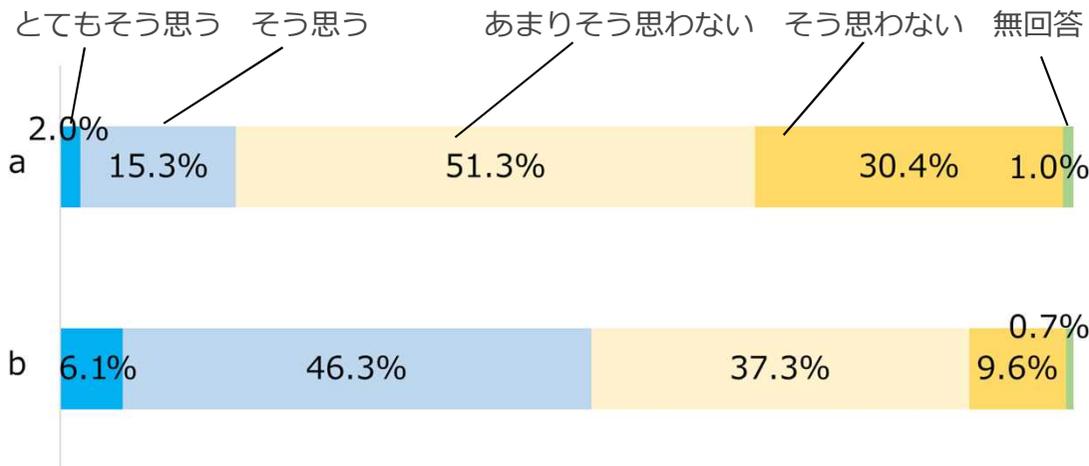
公立大学

(n=175学部・単数回答)



私立大学

(n=1,662学部・単数回答)



【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき
- b. 個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき

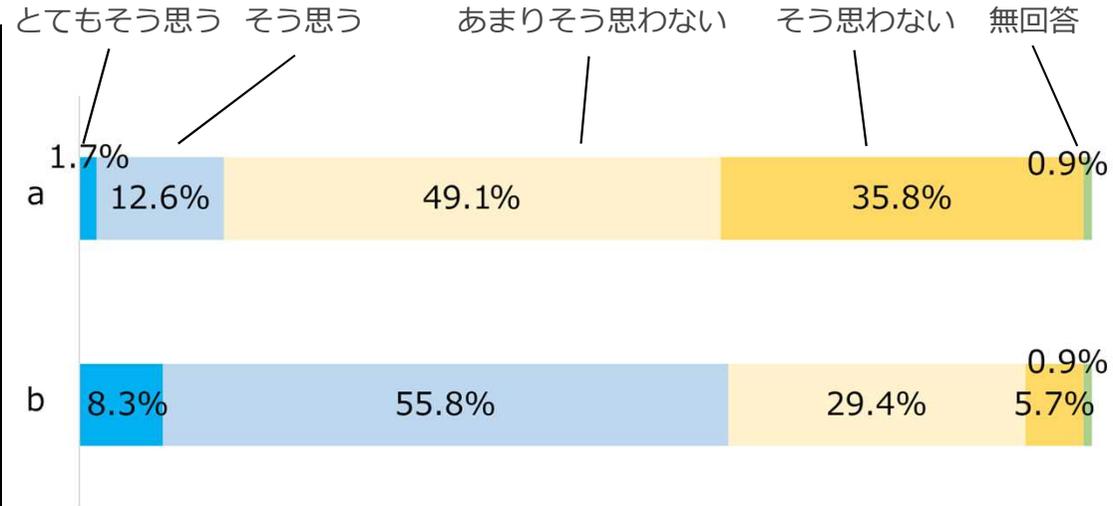
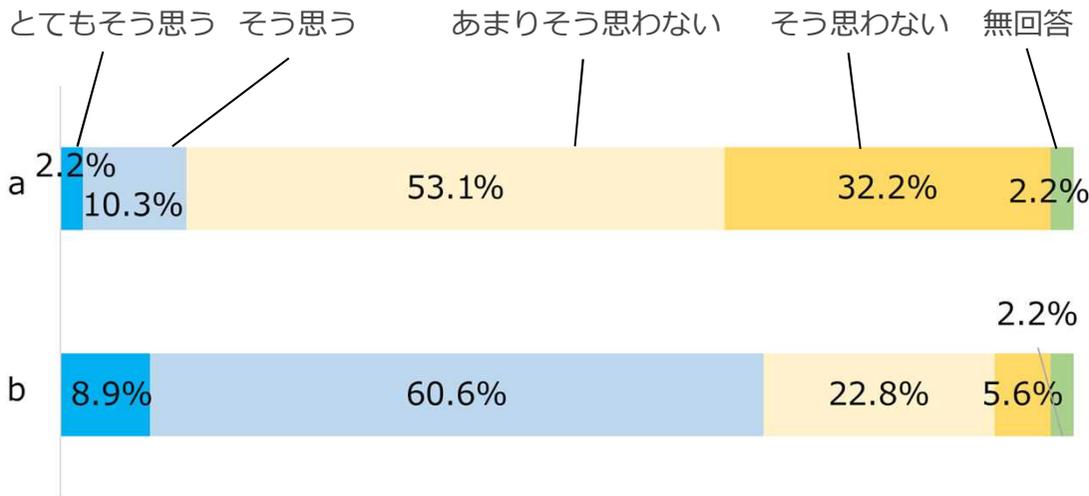
記述式問題への意見（大学規模別）

入学定員：300人未満

(n=360学部・単数回答)

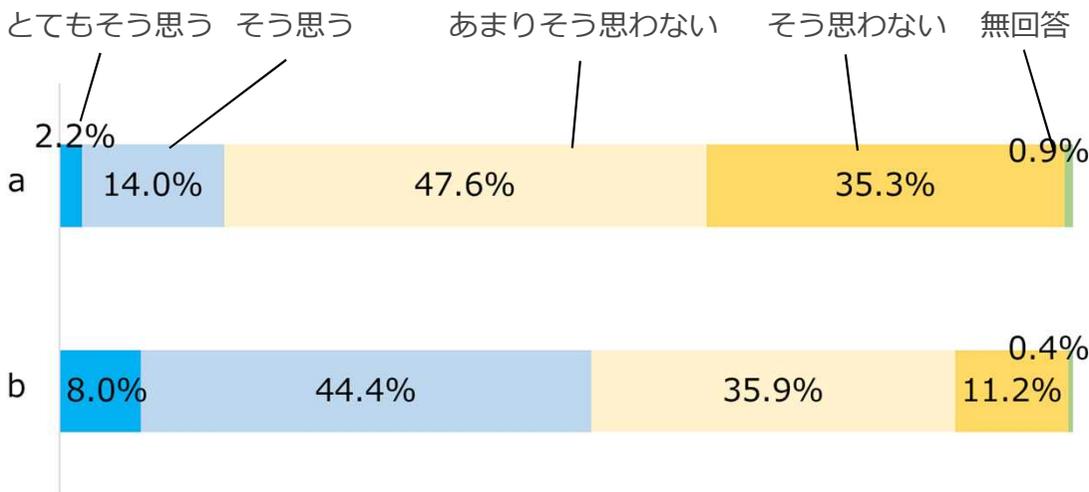
入学定員：300人～1,000人未満

(n=701学部・単数回答)



入学定員：1,000人以上

(n=1,161学部・単数回答)



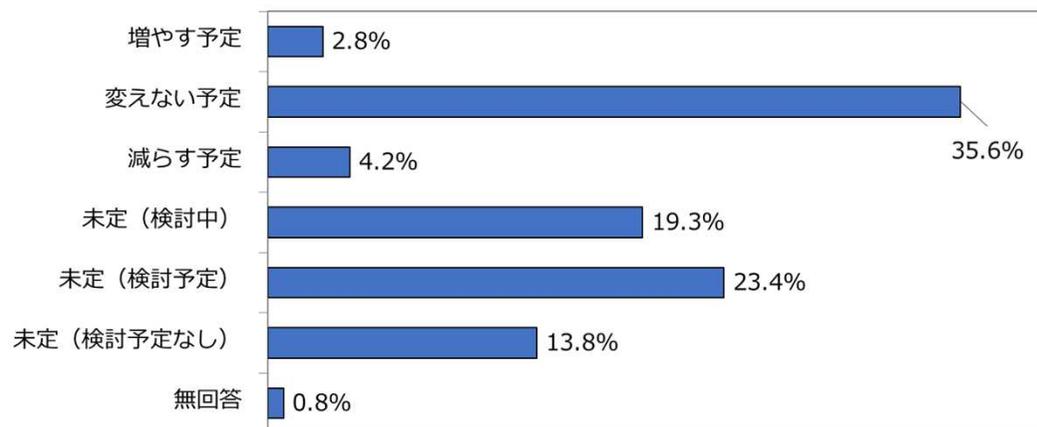
【アルファベットの意味】

- a. 大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき
- b. 個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき

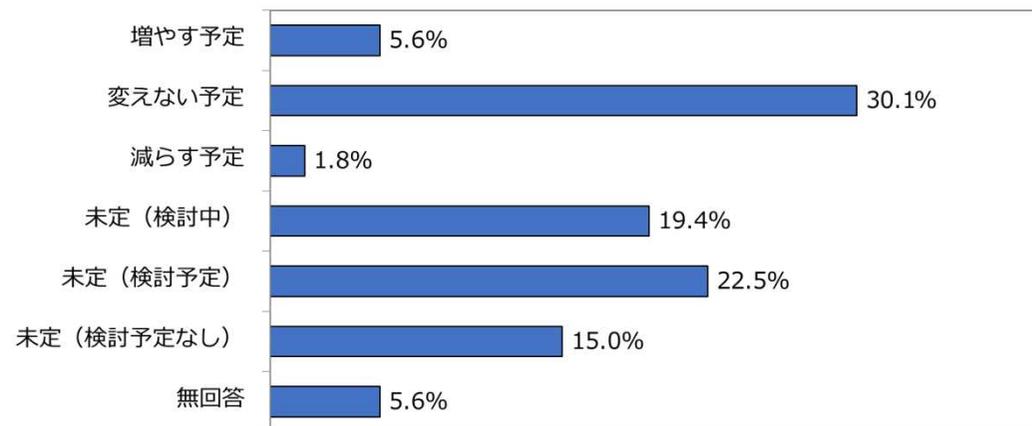
各入試方法における募集人員の増減予定

入試方法は今後も変えない予定を選択した大学が一般選抜で35.6%、総合型選抜で30.1%、学校推薦型選抜で34.6%。一方、検討中・検討予定と選択した大学は一般選抜で42.7%、総合型選抜で41.9%、学校推薦型選抜で43.5%。

一般選抜



総合型選抜



学校推薦型選抜

